

北海道研会報

北海道道德教育研究会

第 173 号

発行所：北海道道德教育研究会

事務局：〒006-0011

札幌市西区八軒 3 条西 5 丁目 1 番 1 号

札幌市立八軒西小学校

TEL 011-643-4352 FAX 011-643-0849

発行人：荒川 芳央

編集人：田村 明人



北海道函館大会に確かな手ごたえを感じて

第 59 回全国小学校道德教育研究大会

第 57 回全日本中学校道德教育研究大会

第 58 回北海道道德教育研究大会北海道函館大会

大会長 荒川 芳央

(札幌市立宮の森中学校長)

準備段階においてもまだコロナ禍による影響が避けられない中、永井貴之大会実行委員長の下、全国各地から多数の皆様のご参加をいただき、第 59 回全国小学校道德教育研究大会・第 57 回全日本中学校道德教育研究大会、並びに第 58 回北海道道德教育研究大会北海道函館大会を盛会のうちに終えることができました。特に全日本中学校道德教育研究大会としては 4 年ぶりの会同しての開催となり、感激もひとしおでした。開催に向け、ご尽力いただきました大会実行委員の皆様にご心より感謝申し上げます。

本大会は、研究主題を「主体的に学び合う児童生徒の育成～Well-beingの実現を目指した道德教育の推進～」とし、これからの道德教育の在り方をこれまでの実践を振り返りながら模索し、追究する大会となりました。

小学校では函館市内から複数の学校の児童が鍛神小学校に集い、6 学級の授業公開を行うとともに授業分科会では熱のこもった研究討議をいただきました。授業者の熱量が伝わる討議が繰り広げられ、実り多い授業研究分科会となりました。また、中学校では亀田中学校の全学級道德が展開され、ローテーション道德や IT による授業、ICT の活用など、道德推進教師が中心となり、学校が組織的に展開する道德科の授業実践について提案がなされました。研究討議では、全員が参加して意見交換できる「えんたくん」を活用して、参会者全員が発信者として交流し合うことができました。

課題別分科会では、小・中それぞれの会場で、5 分科会各 2 提案ずつの合計 20 本の実践発表が行われ、全国各地の貴重な実践について交流することができました。北海道からは、北海道教育大学釧路義務教育学校 山崎博幸先生の「教科等横断を意識した道德科の指導と評価」、上川郡東川町立東川小学校 守屋真奈美先生の「道德科の指導と評価の充実～子どもたちの豊かな心の育成を目指して～」、札幌市立幌南小学校 堀崎将大先生の「教科横断的な学びで『思慮深さ』を育む道德科の授業実践」、札幌市立中央中学校 平井旭人先生の「道德科における指導と評価の一体化を目指して」岩見沢市立栗沢中学校 西藤秀美先生の「小中一貫と地域連携カリキュラムだからこそ可能な道德教育」についての実践発表が行われ、北海道各地の充実した実践を発信することができました。

2 日目の指導講話では、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 堀田竜次先生より、「よりよく生きるための基盤となる道德性を養う道德教育の推進・充実」と題して、大会 1 日目の授業実践を基にした講話をお聞きすることができ、明日の授業から活かせる貴重なご示唆を多くいただくことができました。

また、教育現場の働き方改革にも配慮し、持続可能な大会の在り方についても探りながら、コンパクトな大会運営を意識し、コロナ禍を克服し次代へつなげる運営の在り方についても考えることの多い大会となりました。今後の全道大会においても同様の考え方を参考に無理のない大会運営を目指していきたいものです。

結びになりますが、本大会の開催に当たりご指導を賜りました文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 堀田竜次先生、井上結香子先生をはじめ、北海道教育委員会、函館市教育委員会、授業実践をいただいた函館市内各小学校の校長先生各先生方、亀田中学校の校長先生各先生方並びに研究を支えていただいた函館市小・中道德研究会の皆様、大会運営を支えていただいた実行委員長永井貴之校長先生はじめ大会実行委員の皆様にご心よりお礼を申し上げます。



北海道函館大会を終えて

第59回全国小学校道德教育研究大会

第57回全日本中学校道德教育研究大会

第58回北海道道德教育研究大会北海道函館大会

運営実行委員長 永井 貴之

(函館市立東山小学校長)

北道研事務局をはじめとする関係各位のご支援のおかげをもちまして、第58回北海道道德教育研究大会函館大会を終えることができました。振り返れば、27年前の全国大会と比較して半数以下となった児童数や大幅減になっている教職員数を踏まえて、「コンパクトな大会」にすることを念頭に運営の準備を進めました。実際の計画・準備でも前例を踏襲することはほぼせずに「少人数の実行委員で可能なことだけ」に力を注ぎました。また、運営実行委員会の回を重ねるごとに参集する人数が増えて研究会に活気が戻ったことは、「全国大会を機に、函館道德研を元気にして次代につなぎたい」という当初の願いを実現できたと安堵しています。

これまでも全道大会、全国大会などの大きな大会に向けて共に汗を流したメンバーは、強い仲間意識をもち、その後の個々の実践を共有して、教育活動の充実へ、ひいては各学校の子供の成長に結び付いています。そうした機会を与えていただいたことに改めて感謝を申し上げます。そして、大会にご参加くださった皆様、運営に関わってくださった皆様、ご支援くださった皆様に重ねて心から感謝をお伝えします。本当にありがとうございました。

北海道函館大会を終えて ～授業者より～

函館市立鍛神小学校 安彦 有里恵 教諭

今回、授業を行うにあたり、道德研の先生方、鍛神小学校の低学年ブロックの先生方などのアドバイスや、ご助言をいただき授業づくりを行うことができました。多くの先生方のお力添えをいただき、今回の授業を行うことができたことに感謝申し上げます。

今回の授業では、1年生の子供たちと一緒に、「対話をしながら学ぶ」授業をめざしてつくりあげてきました。教材を通して登場人物の気持ちを考えながら、どうしたらもっと自分たちがよくなるだろうと考えるきっかけになりました。これからも、子供たちと向きあいながら、道德の授業を通して一緒によりよい生き方を考えていきたいです。



北海道教育大学附属函館小学校 春木 知沙都 教諭

今回は、「個性の伸長」の授業を行いました。授業展開を考える中で、どうすれば児童が「自分にもよいところがある。」と思うことができるか、多くの方々からご意見をいただきました。実際の授業では、児童がたくさんの自分のよさを見つけることができていました。また、授業研究分科会でも貴重なご意見をいただきました。

今回このような場で授業をさせていただき、ありがたく思います。今回の学びを、授業実践につなげていきたいと思っています。



函館市立鍛神小学校 棚山 花穂 教諭

はじめに、このような貴重な機会をいただくことができ、感謝しています。今回の研究大会を通じ、多くの先生方からご助言をいただくことができ、大変学びの多い時間となりました。道徳的価値を深めるためのねらいや、それに向かってどのように授業を作っていくのか、教材・教具をどう効果的に使うのかなど、自分にはない視点から、改めて道徳の授業づくりについて学ぶことができました。

今回の学びを自身の更なる成長に繋げ、これからの授業実践に活かしていきたいと思います。



函館市立柏野小学校 藤村 美由紀 教諭

今回の授業づくりにあたって、函館市道徳研、北海道道徳研の先生方には多大なるご指導とご助言を頂きました。また、ともに授業づくりを進めた授業者の皆様、遠くから参観に来て下さった先生方、事後研でご質問・ご意見を出して下さいました先生方にも心から感謝申し上げます。道徳の授業を真剣に取り組むことが学級経営にも正の効果を生み出すことを感じた半年間でした。

今後も、悩みながらも、子供たちとともによりよい生き方を考えていきたいと思います。



函館市立鍛神小学校 高井 文恵 教諭

今回の授業では、自校や研究会の先生方と展開や発問等を何度も検討し、堀田調査官から指導案について細やかなアドバイスをいただき、大変貴重な学びを得ることができました。同じ教材でも、指導方法、考えを深める議論の仕方などは多様であり、児童の実態やねらいをしっかり捉えることが大切であることも改めて実感しました。

授業後の研修では、経験豊富な先生方からのご意見が、新しい気づきとなりました。このような機会をいただいたことに感謝申し上げます。今後も、子供たちと一緒に創る道徳の授業を楽しみながら、教育活動全般に生かしていきたいと思います。



函館市立南本通小学校 三浦 明子 教諭

4月に出会った子供たちとの学級づくりは、道徳を要として進んできたように思います。今回の授業では、子供たちが自分事として考え、伝え合うことができ楽しく学ぶことができました。たくさんの方にご助言をいただき、大変感謝しております。質の高い指導を行うためのヒントもたくさん教えていただきました。

子供たちと一緒に更に「考え・議論する道徳」に取り組んでいきたいと思っています。



函館市立亀田中学校 川合 園子 教諭

北海道大会中学校会場においては、全国各地から200名を超える先生方の御参加の下、所期の目的を達成し成功裏に終えることができました。本研究大会の開催にあたり、文部科学省初等中等教育局調査官 井上 結香子 様をはじめ、多くの先生方から御指導・御助言をいただきましたことに改めて感謝申し上げます。

学校ぐるみで組織的に取り組むローテーション道徳の公開をもとに、参加者自身が対話を通して授業づくりの課題を伝え合う機会をもてたのは大いなる成果と考えます。本大会が函館市の持続可能な道徳科授業づくりへと向かうよう今後も邁進してまいります。ご尽力いただきました皆様ありがとうございました。





北海道函館大会 指導講話 「よりよく生きるための基盤となる道徳性 を養う道徳教育の推進・充実」

文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官
国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官
堀田 竜次 氏

文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 堀田竜次氏により「よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う道徳教育の推進・充実」と題して講演が行われました。

講演では、道徳の指導の基本方針として、「道徳科の特質を理解すること」「学級経営が基本となること」「児童生徒の（内面的な）自覚を促す指導方法を工夫すること」「児童生徒の発達や個に応じた指導（方法）を工夫すること」「問題解決的な学習、体験的な活動など多様な指導方法の工夫をすること」「校内の指導体制を充実すること」などを示していただき、それぞれについて具体例を交えながら詳しく教えていただきました。

明日からの道徳科の授業が楽しみになる、大変実りの多い講演となりました。

大会記録

